

大妻多摩中学校

二〇一七(平成29)年度

入学試験問題(第二回)

【国語】

時間 50分

2月2日(木)

【注意事項】

- 1 問題は15ページまであります。
- 2 指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 3 答えはすべて、問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 句読点やカギカッコは一字と数えてください。
- 5 ページが抜けていたり、印刷が見えにくい場合には、手をあげて知らせてください。

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の表記は原文のままにしてあります。字数制限のある問題は、句読点やカギカッコも一字と数えること。

最近の若者は言い訳が多いと言われるのは事実だし、私自身、学生の言い訳が多くなってきているのは感じる。それでも欧米社会と比べたら、まだまだ言い訳を見苦しく思う感受性は根強く残っていると思わざるを得ない。

その証拠に、2010年に広島大学の心理学者たちが大学生および大学院生を対象に実施した調査によれば、誤解にもとづく非難を受けたとき、「それが誤解であることを説明した者」が約半数いるものの、残りの半数近くは、謝罪したり相手に同意したりして、相手の非難を受け入れていた。

自分が悪いのではなく、明らかに誤解によって相手が怒り、非難してきているような場合でも、誤解であることを説明した者が半数しかないのである。

言い訳をしなかったという人たちにその理由を尋ねたところ、最も多かったのが、「時間が無い・面倒くさい」という者で21%、つぎに多かったのは「説明よりも謝罪が効果的」という者で16%となっていた。

面倒くさいというのは、^①自己正当化に伴う否定的なニュアンスを意識してのことと考えられる。また、謝罪が効果的というのも、自己正当化よりもその場の雰囲気をよくすること、^②間柄を良好に保つことを優先させようという意識が強いためと考えられる。

こうしてみると、今どきの若い世代にも、自己正当化は「みつともない」といった意識は広く共有されているということが出来る。

このように日本社会においては、自己正当化は「みつともない」、言い訳は「見苦しい」といった感受性が人々の心に文化的に刷り込まれているのである。

欧米人が謝らないのは、自己正当化をしないと^③とんでもない目に遭うという事情もある。それには欧米社会では謝罪が責任問題

に直結するということが絡んでいる。

④、自分に非がないのに、うっかり相手に同情して謝ってしまうと、責任が全面的にかかってきてしまう。賠償責任をどこまでも追及される。ゆえに、身を守るために容易に謝れないのだ。

アイムソーリー法が制定されたことが、そうした事情を端的に示している。

法学者佐藤直樹は、「すみません」で良好な雰囲気「場」ができあがると、それを壊すような態度はとりにくくなり、「いいえ」と言わざるを得ない雰囲気醸し出され、「いいえ」と言うことでさらに良好な雰囲気が強化されるという私の論考(『すみません』の国)日経プレミアシリーズを引用した上で、つぎのように言う。

「ところが欧米の場合、謝罪は自分の非を認め、法的責任を認めることになるために、たとえ自分が悪くても絶対に謝らない。たとえばアメリカの保険会社は、自動車の賠償責任保険に加入するドライバーとの契約書に『事故現場では自分はどうか考えるかコメントしない』という条項を盛り込んでいるという。現場で謝罪すれば、100パーセントの責任を問われかねないからである」

「カリフォルニア州をはじめとする多くの州では、病院で患者が死亡した場合に医師が、患者の家族などに、『手は尽くしたが力が及ばなかった。お気の毒です。アイムソーリー』といっても医療過誤訴訟の証拠にはしないという『アイムソーリー法』を制定している。うっかり『すみません』といっても、医師が責任を問われないようにするためである。

およそ日本では考えられない。これを日本でやったら『⑤』ことになるだろう」

(佐藤直樹『なぜ日本人は世間と寝たがるのか』春秋社)

相手に同情し、申し訳ない思いが込み上げ、つい「すみません」と言ってしまうても、それを法的責任があることの証拠として採用しない。このようなアイムソーリー法がわざわざ制定されなければならなかった事情を見ても、アメリカがいかに自己正当化を必

要とする社会であるかがわかるだろう。

〈中略〉

自分に非がなくても、相手の気持ちや立場を思いやって謝ることができるのは、日本では謝罪と責任が分離されているからである。ひとと言ええば、謝罪は欧米では ⑦ につながる、日本では ⑧ につながる。

理屈の正しさ、己の正しさにこだわり、そして力は正義なりといった感じの「自己中心の文化」では、相手が悪いとなれば徹底的に攻撃し、勝利をすれば徹底的に 注1 糾弾し、注2 搾取する。相手が非を認めて謝ったからといって許さない。「アームソリー法」が制定されるほどに、謝罪と責任の追及が密接に結びついているのである。

⑨、「間柄の文化」の日本では、非を認めて謝っている人物をそれ以上責めるのは、弱い者イジメみたいで ⑩ といった感受性がある。敗者への思いやりがある。



そこが、敗れた側を徹底的に攻撃する西欧文化との違いということになる。謝罪した者の責任を徹底的に追及する欧米社会と違って、謝っている者をさらに責め立てるのは「無粋である」、つまり「カッコ悪い」「みつともない」といった、世間体を介した感受性があるため、日本社会ではだれもが警戒心なしに謝ることができるのである。

さらに言えば、許すことが自分の人間的大きさにつながるようなところがある。自分が心が広く寛大な人間であることの証明になる。ゆえに、日本人は、「すみません」と言われると、それ以上責め立てることができなくなり、すぐに許すのである。

このように、謝罪と責任の追及が分離されているため、自己正当化にこだわらずに済むのである。このことが思いやりの心の交流を促しているのであるが、ときにこれを悪用する者が出てくる。 ⑪、許されることを狙って見せかけの謝罪、つまり自己呈示としての謝罪をするのである。

そこが思いやりに溢れる「間柄の文化」のもつ弱点にもなっている。



このように日本では、謝罪と責任が分離しているから、自分に非がなくても相手の気持ちや立場を思いやって謝ることができる。⑫
そこで思い起こす必要があるのは、侵略が繰り返され、政権の座に就く民族が何度も入れ替わり、敗れた民族が殺戮に遭ったり奴隷化されたりした西欧と、同じ民族による国家が長く保たれ、民族内で政権交代があっても敗れた側もそれほどひどい目に遭わなかった日本の違いである。⑬

(榎本博明『「みつともない」と日本人』(日本経済新聞出版社)より)

注1 糾弾……罪や責任を追究して非難すること。

注2 搾取……利益の大部分を搾り取ること。

問1 ——線部①「自己正当化に伴う否定的なニュアンス」とは、ここではどのようなことですか。その説明として最も適切なものを、

次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア たとえ自分が悪くない場合でも、相手に謝罪を強要するようなことは、みつともないと否定されるものだということ。
- イ たとえ自分が悪くない場合でも、自分が正当だと主張するようなことは、みつともないと非難されるものだということ。
- ウ 自分が悪いと分かっている場合に、言い訳をして自分が正当だと主張することは、見苦しいのではいけないということ。
- エ 自分が悪いと分かっている場合に、他の人のせいにして責任のがれをするのは、やってはいけない非難されるべきことだ、ということ。

問2 ②・④・⑨・⑩ に入れるのに最も適切な言葉を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ただし、同じ記号を二度以上使用しないこと。

- ア 一方 イ つまり ウ いわば エ たとえば

問3 — 線部③「とんでもない目に遭う」とは、具体的にどうなることですか。本文中からその答えとなる二十字以内の一文を抜き出し、その最初の五字を答えなさい。

問4 ⑤ には、「人間関係が穏やかでなくなる」という意味のことわざが入ります。そのことわざとして最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 角が立つ イ 身の丈を知る ウ 悪事身に返る エ 敵に塩を送る

問5 — 線部⑥「法的責任があることの証拠として採用しない」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人は非難された場合、まず謝罪をして許してもらい、法的責任を取らなくてよいようにしようとするから。
- イ 人は、自分に非がなくても、相手のことを思いやっつてつい謝ってしまうことがあるが、罪を認めたわけではないから。
- ウ 自分に非があるとしつかりと認めて謝罪している人を、それ以上責めて法的に処罰することは人間として良くないから。
- エ 人は感情的になった場合、思ってもいないことを口に出してしまうことがあるが、それはまったく論理的ではなく証拠にもならないから。

問6 ⑦・⑧ に入れるのに最も適切な言葉を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ⑦ ア 正当 イ 勝利 ウ 処罰 エ 警戒
- ⑧ ア 攻撃 イ 許し ウ 幻滅 エ 癒やし

問7 ⑩ に入れるのに最も適切な言葉を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア みつともない イ すみません ウ 自己肯定的 エ 面倒くさい

問8 ——線部⑫「謝罪と責任が分離している」とありますが、「謝罪と責任が分離」することについて、あなたはどうか考えますか。百字以内で書きなさい。

問9 ——線部⑬の「ひどい目」の「目」と同じ意味で使われているものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 目を閉じる イ 目が高い ウ 目のやり場に困る
- エ いい目を見る オ 見た目が悪い

問10 本文には、次の一文が抜けています。この一文を入れるのに最も適切な箇所を、本文中のアイの中から一つ選び、記号で答えなさい。

「では、どうして謝罪と責任が分離しているのだろうか。」

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の表記は原文のままにしてあります。字数制限のある問題は、句読点やカギカッコも一字と数えること。

次の週、チロはもつと具合が悪くなって、^①ぼくは学校を休みたかった。

「だめよ、学校を休むなんて」

お母さんのその言葉に、なんだよ、こつちの学校はもうおしまいにすればいいのにつて言つてたじゃないか！ つてぼくは頭に来た。

「真人。学校には行きなさい。チロはお母さんに見てもらえばいいから」

お父さんも許してくれない。ぼくがいけないあいだに、チロに何かあつたら、つて想像しただけで泣きそうになる。

ランチタイム、ノアにチロのことを話す。ノアはすつごく同情してくれて、マツト、大丈夫だよ、そんなことにならないよ、つて慰めてくれる。だけど、「犬だつて人だつて、いつかは死ぬんだよなあ」つてノアに^②言われると、また腹が立つてくる。ノア

はチロが自分の犬じゃないから、そんなことが言えるんだと思つた。

「そんな言い方ないだろ！」

つてぼくはノアに向かつてどなつてしまふ。ノアがビクツとなつて、ごめん、マツト、ごめん、つて必死になつて謝つてきたけど、いたたまれなくなつて、まだランチタイム終了のベルが鳴つてないのに、自分の教室に走つていった。図書室の前を通り過ぎるとき、ケルヴィンとすれ違つた。お母さんに付き添われて、どこかに行くらしい。ハイ、マツト！ つてケルヴィンが声をかけてきたので、立ち止まる。どこいくの、つてきいたら、これからピアノのコンテスト、つてケルヴィンのお母さんがすごくわかりにくい英語で答えてきた。ケルヴィンがぼくを^③見て、どうしたんだよ、おまえ、つてきいてくる。^④ノアとケンカした、つてぼ

くは思わず告白してしまふ。お母さんがいるのも忘れてケルヴィンが一步前に出て、なんでだよ、つてきいてくる。ピアノのコンテ

ストで優勝したら、ラブラドル犬を飼ってもらおうケルヴィン。ぼくの犬が死にかけてるのに。

「^⑤優勝なんかしなきゃいい！」

ケルヴィンが面食らった顔をした。

「ど、どうしたんだよ、マツト」

いつも顔色ひとつ変えないケルヴィンが、おどおどした感じになって声がうわずっている。となりのケルヴィンのお母さんまで、ダイジョウブ？ っておろおろしている。

ぼくは走って逃げた。

その夜、チロはとても苦しそうだった。バスケットのなかから、ぼくのほうを見ているけれど、目もうつる。ぼくはお母さんの作ってくれた夕飯が食べられなくて、チロのそばから離れられなかった。水を飲ませようとしても、口も開けてくれない。お母さんははじめぼくに、ご飯を食べなさいよってうるさかったけれど、ぼくが返事しないので

⑥ 黙った。

バスケットのなかのチロの顔を見る。^⑦チロがいなくなったら、ぼくはどうすればいい？ ワトソンに行けなくて、東京に帰ることになって、友だちもいなくて、中学の勉強にもついていけなくて……。また、なにかもやりなおしなきゃならない。チロがいれば、大丈夫なのに。こっちの学校でいじめられたときも、チロがいてくれたから、なんとか次の日もがまんできた。翔太や拓也に忘れられても、チロはずっとぼくの友だちでいてくれた。東京に帰れなくてもさびしくなんかなかった、チロからは東京のおいがしていた。散歩して歩くたび、いい犬だって会う人みんなに褒められて、日本のシバイヌなんです、って答えるのが嬉しかった。ジマンだった。

人の気配がしたので振り向くと、お母さんがドアの外に立っていた。ぼくに気づかれないように、息を殺して、ドアの後ろに隠れるようにしていた。ぼくはもうたまらなくなっちゃった。

お母さん、獣医さんと呼んで、ってぼくは声にならない声で言う。

「まあくん、ほんとうにいいの？ チロ、もう少し、頑張れるんじゃない？」

お母さんの顔が青ざめていた。いい、決めたんだ、もう頑張らせたくない。苦しめたくない。眠らせてあげたい。お母さんは顔を強ばらせたまま、電話するためにリビングに行った。そうだった、お母さんは英語で電話をするのが苦手なんだ。ぼくはそれを思い出して、リビングに行った。案の定、お母さんは電話の前でじっとしている。ぼくはお母さんの脇から手を伸ばして、受話器を取り上げた。獣医さんにかける。うちの犬が病気で、もう眠らせてあげたいんです。住所はウェスト・ハンティングデール・ドライブ29番地。オーチャード・クリーク。アンドウです。アンドウ。チロ、です。C.H.I・R.O。ぼくはそこまで一気に言い終えた。おうちの人にかわってくれる？ って言われた。お母さんが出る。そうです。ありがとうございます。お母さんが受話器を置いて、あのかなしい目でぼくを見つめる。お母さんはその場にうずくまった。泣き声があがった。

獣医さんが来てくれたときには、お父さんも家に帰っていた。時間外の診察で、チロを病院でみてくれた人とは違う当直の先生だった。チロのカルテを見ながら、聴診器を当てる。

「よく、ここまでがんばりましたね。ご家族も、チロも」

「ほんとに、いいんだな、真人」

まだ背広姿のお父さんが、ぼくの肩に手を置いた。お父さんが鼻水をすする音がきこえる。ぼくはチロを抱っこする。チロは、ぼくをまっすぐに見た。

「ぼくがいけないんだ！ 東京から無理矢理連れてきて、だから病気になったんだ！ ぼくのせいだ！」

チロの背中に顔を埋めて、わあっと泣いてしまう。

「そうじゃない。もし日本に置いてきたとしたら、チロはきみがいなくて寂しくて、それこそ病気になっていたかもしれないよ。犬にとっていちばんの幸せは、死ぬまで大好きな飼い主のそばにいたいことなんだ。きみは、最高の飼い主だ」

獣医さんはそう言って、チロを眠らせる注射をした。チロはぼくの手をぺろんとなめて、あとにはおだやかな寝顔が草原のように

広がった。

次の朝、お父さんは早起きして、庭に穴を掘った。お気に入りだった茶色と赤のチェックの毛布に、お父さん、お母さん、お姉ちゃん、そして小さかったぼくがチロを抱っこして写っている写真を一緒に包んで埋めた。気がついたらいつもそばにいた。日本で生まれて東京で一緒に大きくなった。こっちにきてからも、日本のシバイ又なんです、ってぼくのたったひとつのジマンだった。昨日までのぼくも、チロといっしょに死んでしまった。

その日は学校を休んだ。今日は一日しっかり悲しんでおけ、そう言ってお父さんは会社に出かけていった。お母さんがランチにラーメンを作ってくれた。カップ麺じゃなくって、どんぶりに入っているラーメンなんて何ヶ月ぶりだろう。悲しくってとても食べる気にならないと思っていたのに、湯気の立ったどんぶりを目の前にすると、無性にお腹が減ってきて、すぐに平らげてしまった。でもすぐに悲しくなってしまう。キッチンマットの上。テレビの前。庭のサンデッキ。どこを見回しても、もうチロはいない。

「ぼくのせいだ。チロは日本の犬なのに、無理矢理こっちに連れてきたから病気になったんだ。空気だって違う、食べ物だって違う、季節だって逆だ。恭子おばさんが預かってくれるっていったのに、ぼくが、ぼくが、悪いんだ」

目にまた涙があふれてくる。お母さんは一緒にラーメンを食べながら、うつむいた。たしかに、その土地にあったものってあるのよね、お母さんが植えた椿も枯れちゃった。ここでも椿の花が見られるかもしれない、なんて思って植えてみたんだけど。

「おかわりもあるわよ？」

今日はお母さんが優しい。お母さんにウソつくのは一番苦手だけど、これからも、もつとつくような気がする。おかわりをもらおう。

「お母さん」

なあに、真人。返事しながら、ラーメンにほうれん草と卵をのせてくれた。東京でしてきたのか、指の爪がピンク色に塗ってあって、桜貝みたいに恥ずかしそうだった。

「呼んだだけ」

ラーメンのスープを音をたててすすする。おいしい。へんな子ねってお母さんが苦笑いした。

夕方、ジェイクが自転車であってくる。

「マットが休むなんてすぐめずらしいから、びっくりしちゃうじゃないか！ ケルヴィンもノアも、すごく心配してたぜ」
ジェイクのお母さんと姉さんたちが作ったビスケットをお見舞いにくれた。

「明日は行くよ」

ぼくがそこにいなくても、ぼくのことを考えてくれる友だちがいる。ノアにもケルヴィンにも、あんなにひどいこと言ったのに。

明日、⑪ ったと思った。

(岩城けい『Masato』(集英社)より)

問1 ——線部①「ぼくは学校を休みたかった」とありますが、「ぼく」がそのように思ったのは、どのようなことを心配したからですか。その理由を、具体的に三十字以内で答えなさい。

問2

② ・

③ ・

⑥

に入れるのに最も適切な言葉を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア のんびり

イ きっかり

ウ ふと

エ じっと

オ ついに

問3 — 線部④「ノアとケンカした、ってぼくは思わず告白してしまう」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も

適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ノアの言葉があまりにも配慮に欠けていたので、「ぼく」のつらい気持ちを一刻も早くケルヴィンに聞いてもらいたかったから。

イ ケルヴィンの厳しい問いかけに対して、ノアとケンカをしてしまったことを、「ぼく」は言わざるを得なくなってしまうたから。

ウ ノアの言葉がきっかけとは言え、チロのことでノアに八つ当たりをしてしまったことが、「ぼく」の心に引かかっていたから。

エ ケルヴィンが「ぼく」の様子のおかしさに気づいてくれたことがうれしく、ふとノアとのケンカについて話したくなったから。

問4 — 線部⑤「優勝なんかしなきゃいい！」とありますが、なぜそのように言ったのですか。「ぼく」の心情に触れて、具体的に

八十字以内で答えなさい。

問5 — 線部⑦「チロがいなくなったら、ぼくはどうすればいい？」とありますが、「ぼく」にとって、チロはどのような存在ですか。

次の中からその説明として**適切でないもの**を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 嫌なことがあっても、ずっとそばにいてくれるかけがえのない存在。

イ 散歩のたびに、会う人によく犬だと褒められるようなジマンの存在。

ウ 東京に帰れなくても、そのさびしさを忘れさせてくれるような存在。

エ 何もかもやり直させることで、苦しい状況を変化させてくれた存在。

問6 — 線部⑧「ぼくの肩に手を置いた」とありますが、このときのお父さんの気持ちの説明として最も適切なものを、次の中か

ら一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「ぼく」の決断を尊重しつつも、その決断に迷いはないかをやさしく確認しようとする気持ち。
- イ チロのことを大切に思うあまり、「ぼく」の決断をなんとか踏みとどまらせようとする気持ち。
- ウ 獣医さんの言葉を受け、「ぼく」がまだ決断しきれずにいるので、それを促そうとする気持ち。
- エ 「ぼく」の決断は変わらないことを知りながらも、自分もつらいので念を押そうとする気持ち。

問7 — 線部⑨「昨日までのぼくも、チロといっしょに死んでしまった」とは、どういうことですか。その説明として最も適切な

ものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア チロと一緒に生活をして、ジマンに思っていた「ぼく」も、チロの死とともにいなくなってしまったということ。
- イ チロが亡くなり、埋葬したことで、それまでの「ぼく」とは、異なる自分に生まれ変わってしまったということ。
- ウ 日本で生まれ、東京と一緒に大きくなってきたチロが死んだことで、「ぼく」も亡くなってしまったということ。
- エ 気がつくといつもそばにいたチロとの永遠の別れにより、「ぼく」は全ての気力をなくしてしまったということ。

問8 — 線部⑩「たしかに、その土地にあったものってあるのよね、お母さんが植えた樅も枯れちゃった」とありますが、このエ

ピソードは物語の中でどのような効果がありますか。その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア チロを無理矢理連れてきた「ぼく」への反省を促す効果。
- イ 自分のことを責め続ける「ぼく」の心情を和らげる効果。
- ウ チロの死と樅が枯れたことを並べ、後悔を深める効果。
- エ 命あるものは、いつか必ず滅びることを暗示させる効果。

問9

⑩ に入れるのに最も適切な言葉を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア お礼を言おう

イ 学校に行こう

ウ 学校で謝ろう

エ そこにいよう

問10

本文の表現に関する説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 同じような内容の表現を繰り返すことで、そのときの登場人物の心情を読者に深く印象づけている。

イ 倒置法を多用し、違和感を感じさせることで、あたかも翻訳小説ほんやくのような印象を読者に与えている。

ウ 会話を地の文に組み込むことによって、それ以外の会話が引き立ち、演劇仕立てになっている。

エ 会話文だけに話し言葉を使うことで、登場人物の描写に対して、現実感を高める効果が表れている。

三

次の各問いに答えなさい。

問1 次の各文の——線部のカタカナを、それぞれ漢字に直しなさい。

- ① 広島東洋カープが、シハン世紀ぶりにリーグ優勝した。
- ② 英国は、EUからのリダツを決めた。
- ③ 北海道新幹線がカイツウした。
- ④ 定期預金のリリツが下がった。
- ⑤ 卒業論文をテイシュツする。

問2 表1の漢字を使って、表2のように熟語を作りたいと思います。上下の熟語が対義語の関係になるように、□に漢字を当て

はめるとしたら、①〜⑤に入る漢字はそれぞれ何か、答えなさい。

表1

性	然	寒	理
満	情	円	暖
感	冷	自	自
不	人	温	和

表2

円	③	温	④
①	然	□	情
⇕	⇕	⇕	⇕
□	□	②	⑤
和	工	冷	性

以下余白

